

サンデーサイエンス

## 海藻押し葉をつくろう

担当：植物研究室

### 1 内容

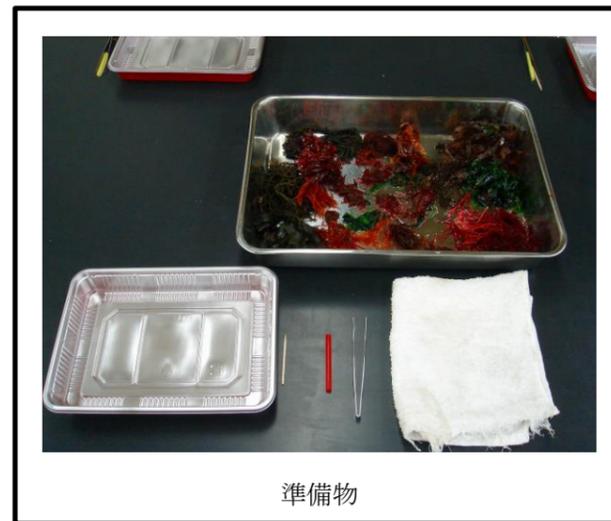
海藻は押し葉標本に適しており、さまざまな海藻を押し葉にすることで、海藻のもつ色や形の多様性を学ぶ。ラミネートすると長く保存することができ、はがきやしおりなどにも応用できる。

#### 【海藻】

藻類は、光合成を行う生物から、コケ、シダ、種子植物を除いたものの総称である。その中で、海に生育する多細胞の藻類を海藻と呼んでいる。海藻は細胞内の色素の種類から、緑藻、褐藻、構想の3つのグループに分けることができる。

### 2 準備物

海藻各種（緑藻、褐藻、紅藻）、バット、ピンセット、つまようじ、プラスチック容器、台紙（はがきやしおりのサイズにカットした厚紙。ケント紙などが適している。）、新聞紙、段ボール、さらし布、ラミネートシート（ブックカバー用のフィルムなどでもよい）、重し



準備物

### 3 手順

- (1) 干潮時の磯に生育している海藻や、砂浜に流れ着いた海藻を採集する。1～2日であれば冷蔵庫に、それ以上保存する場合は小分けにして冷凍庫に保存する。
- (2) 水道水で洗い、ゴミや砂を落とす。さらに水に数分～数十分つけて塩を抜く。
- (3) 水道水を深めに張ったバットに海藻を入れ、その下に台紙を挿入する。
- (4) ピンセットやつまようじで海藻の形を整えた後、台紙ごとそっと引き上げる。小さな海藻は、直接台紙の上ののせてもよい。
- (5) 斜めに置いたすのこ板などに台紙を立てかけて5分くらいおき、余分な水を落とす。
- (6) 段ボールの上に新聞紙をのせ、さらに海藻がのった台紙、さらし布、新聞紙、段ボールを順に重ね、これを台紙の分だけ繰り返す、最後に重しをのせる。
- (7) 段ボールの目に向かって扇風機などで風を送り、一週間ほど乾燥させる。

(8) 新聞紙やさらし布を丁寧にはがし、海藻押し葉を取り出す。さらにラミネート加工すると長期保存することができる。



水を張ったバットを使い、台紙の上に海藻をのせる



小さな海藻は台紙に直接のせる



斜めに置いたすのこ板などに台紙を立てて水を落とす



乾燥させた押し葉標本はラミネート加工するとよい

### 4 注意点

- ・ホンダワラのなかまはアクが出るので、台紙にのせる前に一日以上水につけてアク抜きする。

### 5 参考資料

第49回企画展「そうだ！海だ！海藻だ！」展示解説書、ミュージアムパーク茨城県自然博物館。